



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER 9 東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館 学芸員 奈良 綾さん



多様な模様を創り、布や和紙に染め上げる型絵染の作家「芹沢銈介」。作品や人となりにより多くの人に知ってもらえるような企画を日々考えています。展示も仕事のひとつ。構想を練り、レイアウトを決め、作品位置を記した図を基に作業を開始。展示室では脚立を担ぎ、片手に巻尺を持って配置場所を確認します。次に続く作品を直接扱う作業は気が張るので、適度に休憩が必要です。上階のカップ式コーヒー自販機へ直行し、スタッフと交わす他愛のない(?)会話が、魅力ある展示空間を作るヒントになります。時に、思ってもいなかった問題点が生じて煮詰



私の展示作業には欠かせません

まったとき、不思議とアイデアが浮かぶことも。展示会が始まると、お客様からの言葉が励みになります。作品解説後に「分かり易い」「楽しかった」という感想をいただくと、新たなことをお伝えしたいと作品調査に奮起しますし、来館者アンケートの回答は、大切なご意見として毎日確認しています。東北福祉大学仙台駅東口キャンパス内にある当館は、気軽に入れる場所です。お客様の声やスタッフのアイデアを受けて、「気になる」→「見たい・もっと知りたい」→「誰かに伝えたい」という素敵な連鎖が生まれる美術館を目指したいと思っています。

直近のおススメ イベント情報 「芹沢銈介の釈迦十大弟子尊像展」2020年1月11日(土)～4月3日(金) 休館日 ▶ 月曜日 開館時間 ▶ 10:00～17:00(入館は16:30まで)



SMMAとは 知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局 SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもお役に立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。 www.smma.jp



発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内) 電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp 編集/清水 テナツ デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 写真/長崎由幹 発行日/2020年3月4日 掲載の記事・情報は発行日の段階のものです。この紙はリサイクルできます。

2020 春号 旬の見験楽学 使



ミュージアムをかたちづくる 「人」を大募集



ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT 東北大学植物園

貴重な原生林が残り、国の天然記念物にも指定された「青葉山」にある植物園。折々に芽吹き花開く植物や、野鳥のさえずりなどをたのしめます。冬季休園を経て、春分の日(3月20日)に開園します。

これからの イベント 5月4日(祝月) 「みどりの日」無料開園



国 仙台市青葉区川内12-2 ☎ 022-795-6760 開 9:00～17:00(入場は16:00まで) 休 月曜(祝日の場合は翌平日) ※～3/19までは冬季休園 団 大人230円、小・中学生110円

春に見頃をむかえる植物

植物園では、開園とともに春の花が咲きはじめる、見頃をむかえます。園内を散策し、枝先に足もとに、あちこちにある春をみつけてください。

マンサク 2月中旬～4月中旬	セリバオウレン 3月初旬～4月中旬
カタクリ 3月下旬～4月中旬	ヒメジャガ 5月初旬～6月初旬

※天候などにより開花の時期は多少ずれることがあります

春の街も散策—東北大学植物園 近隣のおすすめ店

森の香本舗

元グラフィックデザイナーの店主がつくりだす、美しい生菓子。春夏秋冬で切り切れない、早春や晩秋など季節の移ろいが繊細に感じられるラインナップは、年間約50種。そのうち常時6種類が並びます

☎ 仙台市青葉区大手町5-5 ☎ 022-223-1314 開 9:30～18:00 休 月曜・第2、4日曜(※4月から毎週日・月曜休)



中央:羅馬(ローマ)324円 左上から時計回りに:希望(れいぼう)378円、菱葩餅(ひしはなびらもち)453円、早舟(はやふね)324円、絵馬(えま)378円、掬梅(くじうめ)378円 ※生菓子の意匠は取材時のもの、時期によって種類や価格は異なります

かつどんのかつどん家

味やボリュームにこだわりながらも、リーズナブルにお腹を満たしてくれるアットホームなお店。厚切りロースカツ丼や梅じそ巻定食など豊富なメニューも魅力

☎ 仙台市青葉区大手町6-8 ☎ 022-264-5211 開 11:00～23:00(ラストオーダー22:30) 休 月曜(祝日の場合は営業)



梅じそ巻定食880円



あかま あき 赤間 亜生 (1966-)

仙台市生まれ。1997年から仙台文学館準備室に勤務し、資料調査・収集と、1999年の仙台文学館開館業務に携わる。2019年より同館副館長。これまで担当した主な展示に、開館記念特別展「夏目漱石展—漱石文庫の光彩—」(1999年)、「宮沢賢治展 in センダード」(2004年)、開館10周年記念特別展「井上ひさし展—吉里吉里国再発見—」(2009年)など。



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

開館20周年を迎え感じる、文学をとりまく環境の変化

若者の活字離れも叫ばれ、社会にしめる文学の意味が大きく変化してきているのを感じます。「文学」というと敷居が高いというイメージを持つ方がいらっしゃいますが、実際には、美術やマンガ、演劇などの他分野にも深く関わり、広く浸透しているものだと思うのです。当館では、そのような文学の幅や奥行きを、常設展や企画展で紹介していきたいと思っています。また、普段生活している仙台的な街も、縁の深い作家の視点を差し込むことで、時代や角度を捉えなおす眼差しが生まれ、別の表情を見せてくれます。これからも、時代を見据え、さまざまな趣向を凝らしながら、文学の意味を問いつづけていきたいと思っています。



常設展「文学のゆりかご・仙台」より。仙台で学び、暮らした時期を経て、のちに文学の世界で活躍するようになった現代作家の新刊を紹介



常設展「まんがの哲人・いがらしみきお」より。記憶をたどりながら描いた「うろばえ仙台」の原画や、震災後の津波襲来地の風景を描いた原画なども展示されている

ここでもっと知る!

仙台文学館 ☎ 仙台市青葉区北根2-7-1 ☎ 022-271-3020 開 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで) 休 月曜(祝日は開館)、祝日の翌日(祝日は開館)、7月・12月以外の第4木曜(祝日は開館) 団 大人460円、高校生230円、小・中学生110円 ※特別観覧料は別途

開催中の 展示 ～4月5日(日) 開館20周年記念特別展「井上ひさしの劇列車」II期

震災からの年月で醸成される言葉

東日本大震災直後、「文学」になにができるのかという問いを常に抱えてきましたが、それは、「文学」を仕事にしている自分自身を問うことでもあり、時として無力感も覚えました。でも、震災から9年という時間が流れたいまは、時間の経過とともに生まれる言葉があると実感するようになりました。言葉が醸成されるのには時間こそかかりますが、そのようにして紡がれた言葉は、一字一字を読むようにゆっくりと考え向き合うことの意味を教えてください。

「みちのく博物楽団 楽団員・協力団員」

東北大学総合学術博物館(理学部自然史標本館)

WANTED!!!

学生の力でミュージアムをもっと身近に!
自然科学をたのしく学べる(ややマニアックな)ワークショップを企画

みちのく博物楽団は、ミュージアムや科学のたのしさを発信する学生団体。東北大学総合学術博物館を拠点に、理学部・農学部・教育学部・経済学部など学科や専攻もさまざまな学生たちが、「ミュージアムを盛りあげる」という共通の目的をもって活動しています。それぞれの特技を活かした、ちょっとマニアックなワークショップや展示ガイドは、子どもにも大人にも大人気。図鑑から飛び出してきたような恐竜の化石や鉱物などがたくさん並ぶ館内を、「なぜ?」の好奇心で歩きまわる子どもたちに、真剣で親しみやすいガイドで答えてくれる楽団員。館内に学ぶたのしさがあふれているのは、楽団員みんながミュージアムでの活動を実際にたのしんでいるからなのでしょう。



みちのく博物楽団 楽団員のみなさん



地球史の長さ人類史の短さを比較し体感してもらう巻物



「なぜ?」に答えてくれるスポットガイドは毎週土曜13時から



動物の分類について学べるカードゲームや、生命進化の過程が詰めこまれたモバイル

募集時期: 随時募集 対象: 大学生・大学院生 ※東北大生に限りません
応募要件: 東北大学川内キャンパスまたは青葉山キャンパスでの定例ミーティングや企画に参加できる方
活動内容: 【楽団員】展示解説・科学系イベントなどへの参加、ワークショップの企画運営、オリジナルグッズの企画販売
【協力団員】イベントやワークショップの当日サポート
応募方法: hakubutsugakudan@gmail.comへメールで連絡
参考: <https://hakubutsugakudan.wordpress.com/about/>

もっと知る

東北大学総合学術博物館(理学部自然史標本館) 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 ☎022-795-6767 🕒10:00-16:00
(月曜(祝日の場合は翌日) 🌐http://www.museum.tohoku.ac.jp

「縄文の森広場ボランティア」

仙台市縄文の森広場

WANTED!!!

約4000年前、縄文ムラのあった山田上ノ台遺跡で、縄文人の心と技を知る縄文体験や展示案内をサポート

縄文人と同じように土器や土偶、勾玉(まがたま)などをつくったり、火おこしをしたり…と本格的な体験学習や展示案内をサポートしているボランティアのみなさん。「縄文部の部室」と呼ばれるようなボランティアルームでは、編布(あざん)の服や生活体験用の土器づくりなど、時に縄文談議に花を咲かせながらイベントの準備をおこなっています。育成講座では、縄文の知識や技を学び、それらが、講座後のボランティア活動にいかされていきます。



土器づくりの粘土を手際よく切り分けるボランティアのみなさん



イベントでは子どもたちの狩り体験などをサポート



「縄文スープ」は、縄文時代にすでにあったとされる塩で味付け



遺跡の視察研修で知見をひろげる

募集時期: ~3月22日(日) 対象: 18歳以上で、全5回の育成講座に参加できる方
講座日程: 4月12日(日)、5月9日(土)、6月7日(日)、6月28日(日) ※日程は変更になることがあります
応募要件: 4月12日(日) 10:00-12:00のオリエンテーションに参加してください。都合により参加できない講座がある場合はご相談ください。 ※ボランティア会の入会費1000円(年間)が必要
応募方法: 往復はがき or FAX or メールに、住所・氏名・電話番号・志望動機を明記の上、3月22日(日) 必着で仙台市縄文の森広場までお申込みください。締め切り後3日以内を目処に、オリエンテーションのご案内をお送りします
参考: <http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~jyoumon/news/>

ここに応募

もっと知る

仙台市縄文の森広場 仙台市太白区山田上ノ台町10-1 ☎022-307-5665 ☎022-743-6771
🌐hiroba@cap.ocn.ne.jp 🕒9:00-16:45(入場は16:15まで)
(月曜(祝日の場合は翌平日)、第4木曜(12月を除く) 🌐http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~jyoumon/

ミュージアムをかたちづくる「人」を大募集

WANTED!!!

ミュージアムは、ボランティアやサポーターなどたくさんの方たちの活躍によって、日々の活動が営まれています。「地域での文化活動に関心がある」「知識や経験を共有したい」など動機はさまざまですが、あたたかい春、一緒に活動する仲間を求める気持ちは同じよう。そこで今号は、WANTED!!! ミュージアムをかたちづくる「人」を大募集!

「音声解説・日本語字幕制作ボランティア」

せんだいメディアテーク

WANTED!!!

目や耳の不自由な方が映画を気軽にたのしめるよう「音声解説」と「日本語字幕」をつけた上映会を開催

せんだいメディアテークでは、バリアフリー上映会を年2回開催しています。目の不自由な方むけに、画面に映る人物の動きや風景などを音声で解説する「音声解説」、耳の不自由な方むけに登場人物のセリフだけでなく、映画のなかのさまざまな音に字幕をつける「日本語字幕」。これらの制作を学べる講座を受講しながら、映画の上映会を目指して活動しています。映画に出てくるさまざまなシーンの描写を、細やかにとらえ、仲間と話し合いながらつくりあげる心のこもった上映会は、行列ができるほどの人気ぶりです。



上映会の日をおもえたボランティアのみなさん



音声解説制作講座では、朗読技術や、解説原稿の録音・編集をする機器の操作を学ぶ



モニター会では、目や耳の不自由な方に具体的な意見や感想をもらってブラッシュアップ



日本語字幕をつける作業。セリフ以外に映画から聞こえてくる音も表現していく

募集時期: 5~6月 ※講座日程は4月頃に決定し、<http://www.smt.jp/projects/bfdesign/>にて情報公開
応募要件: 講座に全回参加可、自宅でDVD視聴可、パソコンでの文字入力やメール送信可、継続して1年間活動可の方
活動内容: 「音声解説」・「日本語字幕」制作、上映会の運営
応募方法: 詳細は4月頃に決定し、<http://www.smt.jp/projects/bfdesign/>にて情報公開

もっと知る

せんだいメディアテーク 仙台市青葉区春日町2-1 ☎022-713-4483 🌐office@smt.city.sendai.jp
🕒9:00-22:00(施設により異なる) ☎第4木曜(12月を除く) 🌐http://www.smt.jp/

「サイエンス・インタープリター」

スリーエム仙台市科学館

WANTED!!!

Science(科学)のInterpreter(説明者・通訳者)として、驚きや発見に満ちた実験やサイエンスショーを展開

子どもたちが行列をつくり熱い視線を送るその先には、サイエンス・インタープリターのみなさんがずらりと並ぶ「チャレンジ・ラボ」が見えてきます。科学のおもしろさ、驚きや発見に満ちた全50種の科学工作・実験メニューから、毎日2種ずつを体験でき、道具や薬品の使い方を優しく教えてくれます。ほかにも、子どもたちの驚きや発見の種を育てるサイエンスショーや展示解説など、幅広く活躍しています。



実験・科学工作教室「チャレンジラボ」でインストラクターとして活躍するみなさん



年齢に応じて、道具や薬品の使い方を丁寧にアドバイス



ナウマンゾウの標本の組み立てに取り組んだこともバイス



身のまわりの科学をわかりやすく紹介するサイエンスショー

募集時期: 4月1日(水)~5月21日(木) 対象: 18歳以上
講座日程: 5月31日(日)、6月7日(日)
応募要件: 月2回(年10回以上)活動に参加でき、養成講座(2日間)に参加できる方
活動内容: おもに子どもを対象とした科学工作や実験の体験活動支援、常設展示の解説
募集人数: 10名程度(応募多数の場合は選考することがあります)
応募方法: 申込書(科学館のHPからダウンロードまたは科学館3F受付にて配布)に必要事項明記の上、直接持込み or 郵送 or メール添付にてお申込みください
参考: <http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/volunteer/index.html>

ここに応募

もっと知る

スリーエム仙台市科学館 仙台市青葉区台原森林公園4-1 ☎022-276-2201
🌐info@kagakukan.sendai-c.ed.jp 🕒9:00-16:45(入館は16:00まで)
(月曜(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(日曜を除く)、第4木曜(12月・休日は除く)
🌐http://www.kagakukan.sendai-c.ed.jp/welcome.htmlindex.html